

令和4年7月20日
高 齢 福 祉 部

令和4年度高齢者ニーズ調査・介護保険実態調査の実施について

1 目 的

高齢者や居宅介護サービス利用者の状況、介護事業者の状況について把握し、第9期世田谷区高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（令和6年度～令和8年度）の策定に向けた検討の基礎資料とするため、実態調査を実施する。

2 高齢者ニーズ調査・介護保険実態調査の概要

(1) 対象

①区民編（無記名方式）

対象者A用、対象者B・C用に分けた調査票をそれぞれ送付する。

- A 65歳以上で、介護保険要介護認定の要介護1～5の人を除いた者
7,000人（母集団 約156,000人）
- B 第1号被保険者のうち、在宅の要介護1～5認定者
2,000人（母集団 約22,000人）
- C 第2号被保険者のうち、在宅の要介護1～5認定者
100人（母集団 約600人）

②事業者編（無記名方式）

区内介護保険サービス事業所 約1,200件

（居宅介護支援、訪問介護、通所介護、短期入所生活介護、福祉用具貸与、介護老人福祉施設、特定施設入居者生活介護など）

(2) 調査方法

郵送配付・郵送回収

3 在宅介護実態調査の概要

介護離職を防止するため、要介護者の在宅生活の継続や介護者の就労の継続に有効な介護サービスのあり方を検討できるよう「在宅介護実態調査」（国が推奨）を令和元年度に引き続き実施する。令和元年度は更新申請に伴う認定調査時における聞き取り調査にて実施したが、新型コロナウイルス感染症の影響により更新認定調査数自体が減少している状況等を踏まえ令和4年度は郵送調査で実施する。

(1) 対象者

- 第1号被保険者のうち、在宅の要介護1～5認定者
1,200人（母集団 約22,000人）

※区民編の調査対象者と重複しないよう対象者を抽出する

(2) 調査方法

- ・ 郵送配付・郵送回収
- ・ 記名方式

調査回答者の負担軽減のため、認定データと関連づけて分析を行う。そのため、調査票に名前・被保険者番号等を記入の上回答するよう依頼する。

4 令和4年度調査項目（案）

(1) 区民編

別紙1のとおり

(2) 事業者編

別紙2のとおり

(3) 在宅介護実態調査

別紙3のとおり

5 今後のスケジュール（予定）

令和4年	8月下旬	調査委託事業者の決定、契約
	11月	事業者編の調査実施
	12月	区民編、在宅介護実態調査の調査実施
令和5年	3月	調査結果のとりまとめ

担当 高齢福祉部高齢福祉課 計画担当 森田

電話：03-5432-2768

FAX：03-5432-3085

メール：sea02082@mb.city.setagaya.tokyo.jp

1. 令和元年度に実施した項目で、令和4年度も実施を検討している調査項目

(1) 共通 19問

	区分	調査項目案		選択肢・回答方法案(一部のみ)
1	本人と家族の生活状況	年齢	本人の年齢を把握する	5歳ごとの年齢階層
2		性別	本人の性別を把握する	男女の別
3		生活の場所	生活している場所を把握する	持家、賃貸住宅、介護施設 他
4		家族構成	家族の構成を把握する	ひとり暮らし、高齢者のみ世帯、その他の世帯
5		暮らしの状況	暮らしの状況を経済的にみてどう感じているかを把握する	苦しい、ふつう、ゆとりがある
6	就労	収入のある仕事の状況	収入のある仕事をしているかを把握する	している、していない
7	交流・活動	会話の頻度【8期計画指標】	普段のあいさつ程度の会話の頻度を把握する	毎日、週に数回、ほとんどしない
8		近所との付き合い	ふだん近所の人とどの程度の付き合いをしているかを把握する	親しく付き合っている、世間話をする程度、付き合いはない 他
9		近所との付き合いがない理由	近所付き合いのない主な理由を把握する	仕事や家事で忙しい、付き合う機会がない、関わりたくない 他
10	住まい	居住継続意向【8期計画指標】	今後も、現在住んでいる地域に住み続けることについて意向を把握する	そう思う、そう思わない
11		希望する生活の場所	今後、(介護が必要になった場合に)どこで生活をしたいかを把握する	自宅、親族の家、公営住宅、介護施設 他
12		人生の最期の場所	人生の最期をどこで迎えたいかを把握する	自宅、病院、介護施設 他
13		人生の最期に関する話し合い	人生最期の過ごし方について、家族や友人等の親しい人と話し合ったかを把握する	話し合ったことがある、話し合ったことがない

	区分	調査項目案		選択肢・回答方法案(一部のみ)
14	介護や医療	かかりつけ医の所在地・類型	かかりつけ医の医療機関の所在地と類型を把握する	区内の医療機関(入院設備の有無)、区外の医療機関(入院設備の有無)、かかりつけ医はいない
15		かかりつけ医の形態	かかりつけ医の形態を把握する	通院、訪問診療、その両方
16	介護保険制度について	介護保険料の段階	支払っている介護保険料の段階を把握する	第1段階～第17段階
17		サービス水準と保険料との関係	介護保険サービスの量を増やしたり質を確保するために、保険料が上昇することについて、どう思うかを把握する	保険料が高くなってもサービス水準を上げるほうがよい、サービス水準は維持し保険料の上昇は要介護者数の伸び等の範囲に抑えるのがよい、サービスの水準が低下しても保険料は安いほうがよい 他
18	その他	世田谷区の実施の認知度	世田谷区の実施の認知度を把握する	あんしんすこやかセンター、民生委員・児童委員、成年後見制度、介護予防手帳、ACP 他
19		意見・要望(自由記載)		

(2)Aのみ 47問(計66問)

	区分	調査項目案		選択肢・回答方法案(一部のみ)
1	本人と家族の生活状況 日常生活	居住地区	本人が居住する地区を把握する	町名
2		階段の昇り降り	運動機能の状況を把握する	できる、できない
3		椅子からの立ち上がり		できる、できない
4		15分程度の歩行		できる、できない
5		直近1年の転倒		何度もある、1度ある、ない
6		転倒に対する不安		不安である、不安でない
7		外出の頻度【8期計画指標】		閉じこもりや外出の傾向について把握する
8		昨年と比べた外出頻度の増減	減っていない、減っている	
9		外出の目的	買い物、通勤、運動、仕事、旅行、外食他	
10		バスや電車等を使用した一人での外出	IADL(手段的日常生活動作)の状況について把握する	できる、できない
11		自分で日用品の買い物		できる、できない
12		自分で預貯金の出し入れ		できる、できない
13		交流の頻度【8期計画指標】	友人・知人と会う頻度を把握する	週4回以上、週2~3回、週1回、月数回、年数回、ほとんどない

	区分	調査項目案	選択肢・回答方法案(一部のみ)		
14	口腔・栄養	身長・体重	身長(cm)、体重(kg)		
15		6ヶ月間の体重の増減の有無 (2~3kg程度)	はい、いいえ		
16		咀嚼機能(固いものが食べにくい)	はい、いいえ		
17		嚥下機能(お茶や汁物でむせる)	はい、いいえ		
18		口の渇き	口腔機能と栄養摂取の状況を把握する	はい、いいえ	
19		食事の回数(日)		1回、2回、3回	
20		肉・魚の摂取状況		毎日、週4日以上、週4日未満	
21		卵・大豆の摂取状況		毎日、週4日以上、週4日未満	
22		野菜の摂取状況		毎日、週4日以上、週4日未満	
23		会食の頻度	孤食の状況を把握する	毎日、週数回、月数回、年数回、ほとんどない	
24		もの忘れ	もの忘れを多さを感じる	はい、いいえ	
25			電話番号を自分で調べてかける	もの忘れの状況を把握する	はい、いいえ
26			今日の日付が分かる		はい、いいえ
27	5分前のことを思い出せる			はい、いいえ	
28	その日の活動を自分で判断できる		認知機能障害の状況を把握する	困難なくできる、他人からの合図や見守りが必要、ほとんどできない	
29	自分の考えを伝えられる			伝えられる、伝えられない	
30	健康状態	主観的健康感【8期計画指標】	主観的な健康状態を把握する	よい、よくない	
31		聴力の支障	聴力の支障の有無を把握する	はい、いいえ	

	区分	調査項目案		選択肢・回答方法案(一部のみ)
32	健康状態	充実感があるか	うつ の 状 況 を 把 握 す る	はい、いいえ
33		楽しさを感じるか		はい、いいえ
34		おっくうさを感じるか		はい、いいえ
35		倦怠感があるか		はい、いいえ
36	健康づくり・介護予防活動	活動の状況	健康づくり・介護予防活動の実施状況を把握する	している、していない
37		活動の頻度		週5回以上、週数回、週1回、月数回、月1回
38		活動の相手		グループ、友人知人、家族、ひとりで
39		活動の場所		自主グループ、スポーツクラブ、大学、医療機関、区が実施する講座、公園、自宅 他
40	交流・活動	役割の期待	地域から役割を期待されたり、頼りにされたりしていると思うかを把握する	思う、思わない
41		参加の状況【8期計画指標】	地域で参加している活動や講座があるか把握する	はい、いいえ
42		参加している地域活動	どの地域活動にどれくらいの頻度で参加しているか把握する	町会・自治会、高齢者クラブ、サロン・ミニデイ、ボランティア、サークル、講座 他を対象として参加頻度を選択
43		活動に参加していない理由	参加または活動していない理由を把握する	友人がいない、きっかけがない、体力に自信がない、時間がない、関心がない、面倒だ 他
44		参加したい活動	今後、参加または活動してみたい活動を把握する	町会・自治会、高齢者クラブ、サロン・ミニデイ、ボランティア、サークル、講座 他
45	介護や医療	要介護認定の状況	要介護度等について把握する	認定は受けていない、総合事業対象者、要支援、要介護
46	認知症に関する相談窓口	認知症の状況	本人又は家族の認知症の症状の有無を把握する	はい、いいえ
47		認知症の相談窓口	認知症に関する相談窓口を知っているか把握する	はい、いいえ

(3)B・Cのみ 10問(計29問)

	区分	調査項目案		選択肢・回答方法案(一部のみ)
1	介護や医療	要介護度	本人の要介護度を把握する	要介護1～5
2		介護が必要になった主な原因	介護が必要になった主な原因を把握する	脳卒中、認知症、衰弱、骨折・転倒、腎疾患、関節疾患、心疾患、難病、がん等
3		緊急時の入院先	かかりつけ医と相談して緊急時の入院先を決めているか把握する	決めている、決めていない、相談していない
4		医療機関の利用状況	いくつの医療機関(病院・診療所等)にかかっているか把握する	1～7か所
5	介護保険サービスの利用と満足度	利用満足度	各サービスの満足度を把握する	介護サービス種別ごとに5段階評価
6		介護保険サービスを利用していない理由	認定を受けていても介護保険サービスを利用しない理由を把握する	希望がない、家族が介護をするため、サービスに不満がある、利用料を支払うのが難しい、身近にない、利用方法がわからない 他
7	介護者の状況	家族介護者の続柄	本人から見た主な介護者の続柄を把握する	配偶者、子、子の配偶者、兄弟姉妹、その他の親族、ヘルパー等、いない
8		介護者の年齢	主な介護者の年齢を把握する	10歳ごとの年齢階層
9		介護者の性別	主な介護者の性別を把握する	男女の別
10		介護者が介護以外に行なっていること	主な介護者が介護以外に行っていることを把握する	就労、就学、育児 他

2. 令和4年度に新たに追加を検討している設問 19問

		調査項目案	追加理由等
1	就労	仕事の満足度	現在の仕事に対する満足度を把握する
2	健康状態	補聴器の使用	聴力に支障がある方に対して補聴器の使用に関する考えを把握する
3		飲酒の頻度	アルコール含有飲料をどれくらいの頻度で飲むか把握する
4	からだを動かすこと	介護予防の効果	介護予防をしている方に効果があると感じているかを把握する
5		介護予防に取り組まない理由	介護予防をしていない方の取り組んでいない理由を把握する
6	交流・活動	幸福度	現在どの程度幸せであるかを把握する(10点満点)
7		居場所の希望	自宅以外で、どのような場所で過ごしたいか把握する
8	介護や医療	健康診断の受診状況	健康診断等の受診状況を把握する
9	区の取り組み	民間サービスの利用	区が実施する在宅高齢者福祉の施策と類似の民間サービスの利用状況を把握する
10		区が独自に取り組むべき在宅高齢者福祉の施策	区が優先して維持・充実させるべきと考える在宅生活を支えるサービスの類型を把握する
11		区が独自に取り組むべき在宅高齢者福祉の経費負担	区が実施(又検討)する在宅生活を支えるサービスを維持するための経費負担の考え方を把握する
12		情報の収集	区の事業、イベント等の情報をどういった手段で収集しているか把握する
13		情報通信機器の利用状況	パソコンやスマートフォン等の情報通信機器の利用状況を把握する
14	認知症に関する相談窓口	世田谷区認知症とともに生きる希望条例の認知度	「世田谷区認知症とともに生きる希望条例」の認知度を把握する
15		認知症観の転換	認知症になっても、地域の中で自分らしく希望をもって暮らし続けることができると思うかを把握する

調査項目案		追加理由 検討内容
16	介護保険サービスの利用と満足度 介護保険サービスの効果	介護保険サービスを利用するようになって変わったこと(効果)を把握する
17	介護者の状況 介護者のこころの健康状態	介護者のこころの健康状態を把握する
18	介護保険制度について 要介護状態の改善についての考え	要介護状態が改善することについてどのように考えるか把握する
19	その他 新型コロナウイルス感染症の生活への影響	コロナ禍(令和2年1月頃～現在)における生活の変化を把握する

事業者編

別紙2

1. 令和元年度に実施した調査項目で、令和4年度も実施を検討している調査項目 40問

区分	調査項目案		選択肢・回答方法案(一部のみ)
事業所の概要	1	法人形態	事業所を運営している法人の形態を把握する 社会福祉法人、医療法人、営利法人 ほか
	2	法人の事業所数	事業所を運営している法人の介護サービス事業所数を把握し、法人の規模を確認する 1事業所、2～4事業所 ほか
	3	サービス種別	事業所のサービス種別を把握する 介護保険のサービス種別(介護予防、総合事業は除く)
	4	併設サービス	事業所のサービスの併設の状況を把握する 介護保険のサービス種別(介護予防、総合事業は除く)
	5	従業員数	事業所に勤務している従業員を勤務形態、職種、年齢別に人数を把握する 職種別の勤務形態別の年齢別の人数 勤務形態:常勤、非常勤 職種:介護職員、介護支援専門員 ほか 年齢別:20代、30代 ほか
	6	従業員の在籍年数	事業所の従業員の在籍年数の状況を勤務形態別に人数を把握する 勤務形態別の人数 勤務形態:常勤、非常勤 1年未満、1年～3年未満 ほか
人材確保・育成・定着支援	7	採用状況及び離職者数	事業所の採用状況別の人数と離職した人の人数を勤務形態別に把握する 勤務形態別の人数 勤務形態:常勤、非常勤 採用状況:新卒採用者、経験者 ほか 離職:人数
	8	採用に効果的だった取組み	従業員を採用した事業所の採用活動における効果的だった取組みの状況を把握する ハローワークでの求人募集、求人サイトへの募集掲載区の職員相談会 ほか
	9	離職した従業員の勤務年数	離職した従業員の勤務年数の状況を勤務形態別に人数を把握する 勤務形態別の人数 勤務形態:常勤、非常勤 1年未満、1年～3年未満 ほか
	10	離職率の前年度比	事業所の離職の状況を前年度と比較する 低くなった、変わらない、高くなった
	11	離職の理由	事業所が捉えている離職の理由について把握する 家庭の事情、健康上の問題、キャリアアップ ほか
	12	人材確保の状況	事業所の人材の過不足状況について職種別に把握する 職種:介護職員、介護支援専門員 ほか 状況:不足、適当 ほか
	13	人材不足の背景	事業所が人材不足として回答した背景を把握する 事業の拡大ができない、入所希望に対応できない など
	14	人材不足の理由	事業所が考える人材不足の理由を把握する 給与が労働条件に見合わない、介護への理解・関心が低い など
	15	外国人人材の雇用	外国人人材の雇用への事業所の取組み、考え方を把握する 雇用に向けた取組みを積極的に行っている、雇用を進める予定はない など
	16	外国人人材の受入れ状況	事業所の外国人人材の受入れ人数を制度別に把握する 制度:EPA、在留資格「介護」など

	区分	調査項目案	選択肢・回答方法案(一部のみ)	
17	人材確保・育成・定着支援	人材確保の取組みの実施状況と効果認識	事業所が人材確保のために行っている取組みの実施状況と実施している取組みの効果認識について把握する	取組み:HP・SNS等で施設をアピールする、賃金体系の見直し など 効果認識:非常に効果がある、あまり効果がない など
18		人材育成策	事業所が人材育成のためにとっている方策を把握する	教育・研修、資格取得のための手当 など
19		人材育成について区に望むこと	事業所が人材育成について区に望むことを把握する	研修の実施、研修講師の派遣 など
20	事業運営等	介護職員処遇改善加算等の算定状況	事業所で算定している「介護職員処遇改善加算」、「介護職員特定処遇改善加算」を把握する ※令和4年度調査では「介護職員等ベースアップ等支援加算」の算定状況を追加するか検討中	介護職員処遇改善加算:加算Ⅰ～Ⅲ 介護職員特定処遇改善加算:加算Ⅰ、Ⅱ
21		介護職員処遇改善加算等の課題	事業所で算定にかかる課題と捉えていることを把握する	対処の職員が限定、事務作業が煩雑 など
22		労働環境改善の取組み	事業所が重要と考える労働環境改善のための取組みを把握する	福利厚生の充実、労働条件の改善(賃金) など
23		介護ロボットやICT機器の導入状況	事業所の介護ロボットやICT機器の導入状況を機器別に把握する	機器別:介護記録、見守り、移乗介助 など 導入状況:導入済、準備中 など
24		サービス利用者数	事業所のサービス利用者の人数を世田谷区、世田谷区以外の被保険者別で把握する	世田谷区の被保険者、世田谷区以外の被保険者の人数
25		利用者数の変化	過去と比較した利用者数の変化を把握する。	増加した、変わらない、減少した
26		運営の方向性	今後の事業所等の運営の方向性を把握する	事業を拡大する、現状維持 など
27		利用者の機能の維持、満足度の向上等の取組み	事業所で利用者の機能の維持、満足度の向上等のために特に重視している取組みを把握する	自立支援・残在機能の維持・向上、コミュニケーション など
28		サービス提供の課題	事業所のサービス提供に関する課題を把握する	スタッフの確保、スタッフの技術不足 など
29		家族等介護者	介護者の抱える問題	事業者が捉えている介護者の問題を把握する
30	介護者への支援		事業者が考える介護者へ必要または有効な支援について把握する	緊急対応の充実、相談支援 など
31	医療機関との連携	医療機関との連携状況	事業所の医療機関との連携の状況を把握する	よく連携できている、うまく連携できていない など
32		医療機関との連携の課題	事業者が考える医療機関との連携の課題を把握する	顔の見える関係にない、相互の理解 など
33		訪問診療の利用者数	【居宅介護支援事業所のみ】定期的に医師による訪問診療を受けている利用者数を把握する	世田谷区の被保険者、世田谷区以外の被保険者の人数

	区分	調査項目案		選択肢・回答方法案(一部のみ)
34	その他	地域交流・地域貢献	事業所の地域交流・地域貢献の状況を把握する	地域のイベントへの参加、町会・自治会の加入 など
35		ボランティアの受け入れ状況	事業所でのボランティアの受け入れ状況を把握する	受け入れている、受け入れていない
36		ボランティアの依頼内容	事業所がボランティアにお願いしている内容を把握する	話し相手、特技や趣味の披露 など
37		区の情報提供別の閲覧状況	事業所が閲覧している区の情報提供手法について把握する	FAX情報便、区のホームページ など
38		区の情報提供方法への意見	区がFAXで送信している情報をメールに変更することなどに対する事業者の意見を把握する	メールを希望、FAXを希望 など
39		区に望むこと	事業者が保険者としての区に望むことを把握する	制度改正の情報提供、利用者への制度周知 など
40		事業運営上の取組み、意見	事業所からの事業運営上の取組み、その他意見について把握する	自由記述

2. 令和4年度に新たに追加を検討している設問 5問

	調査項目	追加理由 検討内容
1	事業所開設からの実年数	従業員の在籍年数等の分析において、事業所の開設期間も考慮する必要があるため、項目を追加する
2	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う影響	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う区内事業所の影響等について把握する
3	サービス事業所の特徴・強み	区内にどのような特徴を持った事業所があるか、他のサービス事業所にはない強みなどの情報を把握する
4	利用者・家族からのハラスメントに関する取組み状況	令和3年度の基準改定でハラスメント対策の強化が示され、カスタマーハラスメント対策は努力義務となった。それを踏まえ、事業所の利用者・家族からのハラスメントに関する取り組み状況を把握する
5	災害等への備え	自然災害等への区内事業所の備え等について把握する

在宅介護実態調査

別紙3

1. 在宅介護実態調査の調査項目 12問

	区分	調査項目案		選択肢・回答方法案(一部のみ)
1	概況	世帯類型	世帯の状況を把握する	単身世帯、夫婦のみ世帯 ほか
2		家族等の介護の頻度	家族等からの介護の状況を把握する	ない、週に1～2日、ほぼ毎日 ほか
3		主な介護者について①	本人との関係を把握する	配偶者、子 ほか
4		主な介護者について②	性別を把握する	男性、女性
5		主な介護者について③	年齢を把握する	20歳未満、20代～80代 ほか
6		離職の状況	家族等で介護を理由にした離職の状況(過去1年)を把握する	主な介護者が離職、離職した者はいない など
7		施設等の検討状況①	施設等への入所・入居の検討状況を把握する	検討している、検討していない など
8		施設等の検討状況②	入所・入所を検討している施設を把握する	特別養護老人ホーム、グループホーム など
9	主な介護者の状況	現在の勤務形態	主な介護者の現在の勤務形態を把握する	フルタイム、パートタイム など
10		働き方の調整の状況	主な介護者が介護するにあたっての働き方の調整の状況を把握する	労働時間の調整、在宅勤務 など
11		今後について	主な介護者が今後も働きながら介護を続けられるかを把握する	問題なく続けていける、続けていくのは難しい など
12		不安に感じていること	主な介護者が不安に感じていることを把握する	身体介護:排泄介助、食事の介助 など 生活援助:食事の準備 など その他:経済的負担 など